

サーバス北海道支部会報

2007,3,10 発行

発行人 支部長 吉崎 収二

支部会報の発行について

この度、北海道支部会報を発行することとなりました。内容等につきましては、今後皆様と相談しながら作り上げていきたいと考えておりますので何卒よろしくお願い申し上げます。ご意見をお寄せください。

さしあたっては年4回ぐらいの季刊とし、日本サーバスや他の支部からの情報と重複しない、北海道独自のものにしていきたいとも考えています。

それではまず初めに私がちょっとした文を寄せたいと思います。

ニセコの賑わいとサーバスの関係

3月になり日本全国の地価公示価格が気になりますが、昨年の上昇幅上位にニセコスキー場周辺がランクされました。東京、大阪、名古屋などと並んで北海道の、それもスキー場周辺が、と不思議に思われることでしょう。

しかし、実は、私とその秘密を知っているのが皆さんにとっておきの情報としてご紹介いたします。

それは、12～3年前のことでした、一人のオーストラリアからのサーバスメンバー、スコット氏が我が家を訪れました。年齢は20代後半でしたでしょうか？ 彼はそれまで世界各国をかなり旅行し、日本にきたようでした、これというあても無く1週間程も逗留していました。その間にスキーも大好きということで我が家の別荘に行きながらニセコで1日を過ごしました。確かにインストラクターをしたこともあるというので腕前は上等なものでしたし、ニセコのスキー場のすばらしさに感動しておりました。

今後日本で仕事をしたいようなことも話しておりましたが、次のメンバーのところへ我が家を後にしました。その後も時々電話が来たりしておりましたが1年ほどしてから、ニセコで仕事を始めた旨の連絡がありました。実はニセコでは、彼よりも数年先に別のオーストラリア人が溪流を利用したラフティングなどを地域おこしの一環として始めておりました。

多分、スコット氏は彼とも友達になり同じような仕事を始めることになったのだと推察いたします。かれはその後、雪の上のスノーラフティングなども始めるとともに、母国オーストラリアへのニセコのすばらしさを積極的に紹介し事業を発展充実させていったようです。私は外国人と話しをするのが大好きです。リフトに乗るときには好んで彼らと色々話をしていました。

ニセコは東洋のサンモリッツと言われるほどマニアの外国人にも知られたスキー場ではありましたがその多くは、香港などで働いている欧米人が中心でオーストラリア人はまれでした。ところが7～8年前にスキー場のレストランで会った一行のドイツ系オーストラリア人の一人が曰く「私は世界中のスキー場を歩いているがニセコの雪は世界一だ。」と興奮気味に話しておりました。毎シーズン20日間程ニセコで滑っている私にとりましては、この頃から少しずつオーストラリア、ニュージーランド方面からのスキー客が増えてきたことが実感していました。5年前にはその数は確実なものとなり、3年前からは札幌～ケアンズの冬期間の定期便が就航するようになり、オーストラリアの企業がニセコヒラフスキー場のひとつ花園コースを買収することにより、コンドミニウム等の長期滞在型へのインフラが急速に整備されるようになり、地価が高騰したということになります。多くの方は10日間から2週間ほど楽しんでいくようです。

退職した小生は最近平日にニセコを訪れることも多くなりました。レストランに入るとそこは約半数が外国人で、ここは外国のスキー場かと思うほどです。

特に今シーズンに入ってから大きな特徴は、家族連れと、70歳前後の高齢シニア層が極端に多くなったことです。それだけニセコのホスピタリティが評価されたことと、今まで主に北欧やアメリカ・カナダで楽しんでいた人たちにとっては、飛行時間が半分、航空料金も安く、時差も無く、雪質がすばらしいと四拍子もそろったニセコに滑りにきたくなるのも当然ではないでしょうか。

小生もニュージーランドでヘリコプタースキーをしましたが、雪質については、同じ新雪でも雪の結晶のひとつひとつが見えるようなニセコのパウダースノーときちっとしまったきめの細かなニュージーランドの雪とはまったく違います。子供と高齢シニア層が増えているということは、何よりも多くの人々に受け入れられているという誠にも力強い証拠ではないでしょうか。

少し長くなりましたが、スコット氏の努力はすべてではありませんが大きなきっかけであったことは、言うまでもありません。

このようにちょっとしたサーバスの交流が、一地域の経済に大きく影響することもあるというよい事例です。今後もサーバスの交流を大切にしていきたいものと再認識している次第です。

お知らせ

- ・国内会議の出席について 3月17日～18日、東京で開催されます。吉崎が出席いたします。会議での検討課題がありましたらお寄せください。
- ・支部交流会の予定 7月初旬(7日か8日)に洞爺湖畔にあります菊池さん宅で予定しています。詳細は次回6月発行の会報でお知らせいたしますのでよろしく願いいたします。